



◆ 毎月5日・20日配信

2022/10/20

LIAJメールマガジン

第251号



家畜改良事業団発行

<http://liaj.lin.gr.jp/>

いつも当団メールマガジンをご覧いただきありがとうございます。秋晴れが続くようですが、朝晩の冷え込みが気になります。どうぞご安全にお過ごしください。では、251号をお届けいたします。

種 | 雄 | 牛 | 情 | 報 |



◆P黒1045 知恵久 実力証明!◆

父：菊知恵 母の父：安福久 母の祖父：福栄

知恵久は、BMS No. (第3位) や皮下脂肪厚 (第1位)、歩留基準値 (第6位) に優れ、脂肪酸組成においても高い改良力を発揮する純粋田尻系種雄牛です。この度、現場での肥育結果がついに判明しました!

知恵久産子枝肉成績

○一般出荷 (10/13)

去勢 知恵久×勝早桜5×勝忠平 月齢26.3

BMS12、枝肉重量 509kg、ロース芯 67cm²、バラ厚 9.0cm 格付等級A5

<http://liaj.lin.gr.jp/index.php/detail/data/p/8186390791>

出荷月齢26.3ヶ月と比較的早期に出荷され、枝肉重量500kg超え、BMS No. 12と申し分ない成績でした。今後、続々と出荷される知恵久にご期待下さい!

◆第12回全国和牛能力共進会において当団G育種価の正確性を実証!◆

第12回全国和牛能力共進会が令和4年10月6日～10日に鹿児島県で盛大に開催され、第6区と第8区において当団関連種雄牛産子が素晴らしい成績を収めました。

第6区 (総合評価群 肉牛群) では、E黒023久茂福の産子3頭が肉牛群1位に輝き、そのうち1頭が脂肪の質賞も受賞しました。また、E黒028新岡光81の産子3頭も出品され、BMS No. 12、12、11と好成績を収めました。

第8区 (去勢肥育牛) では、全国39道府県から58頭が出品され、うち33頭の父親 (種雄牛) が当団関連牛 (福之姫28頭、舞菊福3頭、愛之国1頭、久茂福1頭) でした。特に福之姫産子は枝肉重量の平均が502.7kg、BMS No. の平均が11.1であり、優等賞4席、5席をはじめとして、14頭が優等賞を受賞しました。その中でも優等賞5席に輝いた群馬県の出品牛は、先に新規選抜した「P黒1125 福之鶴」の全兄弟であり、期待どおりの成績でした。

【牛肉輸出量】8月は海外のコロナ感染拡大などで数量合計は6月から引続き低下傾向でした。依然として、米国(コロナ以外にインフレ等の影響も含む)や中国での需要低下の影響が出ています。全体の数量は658.355t(前年比90.9%)で金額は45億899万円(前年比90.4%)でした。輸出数量が多い(輸出計に占める割合、括弧内数量前年比)のは、台湾21.0(203.5%)、カンボジア16.3(41.9%)、香港13.5(79.4%)、米国10.9(70.0%)、タイ10.7(509.0%)でした。(財務省貿易統計)。

【枝肉相場(東京市場,税抜)】9月の和牛は、例年の季節要因に加え、食品インフレやコロナ感染拡大があり弱保合が予想されたものの、結果的には外食需要の回復に支えられ、保合相場でした。和牛去勢では、加重平均価格でA5:2,363円/kg(前月比103.3%、前年比96.2%)、A4:2,104円/kg(前月比103.4%、前年比99.0%)、A3:1,869円/kg(前月比100.7%、前年比98.0%)、A2:1,600円/kg(前月比95.7%、前年比95.7%)となっています(alic)。主な相場影響要因は(マイナス):コロナ感染拡大等による輸出数量減、インフレによる家計圧迫による需要減退・他畜種へのシフト等です。

【10月の見通し】alicによると10月の出荷頭数は和牛は前年比減、交雑は前年比増と予想される(それぞれ98.4%,113.0%)ことから、さまざまな要因[プラス:気温冷涼化による鍋物相場の始まり、外食需要の回復、マイナス:コロナ感染拡大による内外需要減退、枝肉に対する飲食店需要は人手不足で回復半ば、インフレの家計圧迫による需要減退]を睨んだ和牛はもちあいの相場展開と考えられます。(富谷)

事 | 業 | 関 | 係 |

◇ 2022年度乳用種雄牛後代検定事業(候補種雄牛の調整交配) ◇

2022年度後代検定の候補種雄牛の調整交配が11月から始まります。

【今回のポイント】

○候補種雄牛を100頭に厳選

・ゲノミック評価値の信頼性向上による予備選抜の強化により、候補種雄牛頭数を140頭から100頭(前期:50頭、後期:50頭)に厳選しました。

○候補種雄牛の期待能力が大幅にアップ

・ゲノミック評価値の活用によって、より若い雌牛から雄牛を生産し、より高い能力が期待される雄牛の中から候補種雄牛を予備選抜しました。
・前期50頭のうち36頭のゲノミック評価値(NTP)は、現在供用されている検定済種雄牛トップの評価値(2853)を超えています。
・また、無角やレッドといった特徴を有する候補種雄牛もいます。

牛群の改良を効率的に進めるためには、高い信頼度を有する検定済種雄牛とともに、最新の遺伝子を持つヤングサイア(候補種雄牛)をバランス良く利用することが重要です。候補種雄牛の調整交配へのご協力をお願いします。

◆ 31現検(前期) 枝肉調査まもなく終了!(肉牛) ◆

31年度前期候補種雄牛の現場後代検定調査牛の枝肉調査を全国各地で行っており、今月末まで実施します。種雄牛別の枝肉成績については、ホームページに掲載しています。

http://liaj.lin.gr.jp/uploads/n31-1f_gaiyo.pdf

◆R03現検（前期）検定調査牛導入実施中！（肉牛）◆

令和3年度前期候補種雄牛の現場後代検定調査牛について、9月下旬より各肥育委託農家等への導入を開始し、11月30日まで実施します。関係者の皆様におかれましては、検定調査牛の個体確認等ご協力の程よろしくお願いいたします。

◆R03現検（後期）検定調査牛（肉牛）◆

令和3年度後期候補種雄牛の現場後代検定調査牛はおおむね令和4年7～9月に生産されました。関係者の皆様におかれましては、検定調査牛の日齢に見合った発育をするよう良好な哺育・育成管理をよろしくお願いいたします。また、雄子牛の去勢は、生後4カ月齢までに確実に実施するようよろしくお願いいたします。

（令和3年度後期候補種雄牛名簿）

http://liaj.lin.gr.jp/uploads/nr03-2r_sire.pdf

◆R04現検（後期）調整交配実施中！（肉牛）◆

令和4年度後期候補種雄牛15頭の調整交配を10月1日より開始しました。交配期間は12月14日までです。関係者の皆様におかれましては、調整交配協力雌牛全頭への交配をよろしくお願いいたします。

（令和4年度後期候補種雄牛名簿）

http://liaj.lin.gr.jp/uploads/nr04-2r_sire.pdf

発行元：一般社団法人 家畜改良事業団
サイト：<<http://liaj.lin.gr.jp/>>
メール：<webmaster@liaj.or.jp>
電話（代表）：03-5621-8911

★万一、当メールがご迷惑をおかけしている場合や連絡先等の変更などがある場合は、大変お手数ですが折り返し下記アドレスまでご連絡ください。webmaster@liaj.or.jp

★当団のメールマガジンはスマートフォンへの配信も行っています。ご希望の方は、上記アドレスまでご連絡ください。

★このメールマガジンにはファイルは添付されていません。